

「汽水域研究会」主催企画

熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター・島根大学汽水域研究センター
合同シンポジウム

「陸域-汽水域-沿岸域の共同研究の推進を目指して」

主催：熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター・熊本大学拠点形成研究 B（閉鎖性沿岸海域における環境と防災，豊かな社会環境創生のための先端科学研究・教育の拠点形成）；熊本大学拠点形成研究 B（地域水循環機構に基づく持続的水資源利用のフロンティア研究）・島根大学汽水域研究センター・島根大学循環型社会構築重点プロジェクト・汽水域研究会-

日程

10月23日12時～19時（見学旅行）

見学場所：宇土半島

熊本大学-松合（9918 台風高潮災害）-不知火永尾神社沖（海底湧水）-三角西港（明治期の港湾施設：重要文化財）-三角町（肥後迷惑の遺跡）-網田海岸（砂干潟とリップル）-熊本新港（泥干潟と環境修復事業）-熊本大学

案内者：増田達也（熊本大学大学院先導機構），嶋田純（熊本大学沿岸域センター）or 大学院生・秋元和實（熊本大学沿岸域センター）

10月24日9時～17時35分（シンポジウム）

会場：熊本大学工学部百周年記念館

定員：140名

参加費（資料代）：無料

内容：

9:00-9:05 開会の挨拶（熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター長）

9:05-11:50 シンポジウム I

11:50-13:20 昼食+ポスター（コアタイム）

13:20-15:20 シンポジウム II

15:30-17:30 シンポジウム III

17:30-17:35 閉会の挨拶（島根大学汽水域研究センター長）

懇親会（18:30-）

シンポジウムプログラム

シンポジウムⅠ（9:05-11:50）

タイトル：陸域-汽水域-沿岸域における環境研究の現状と課題

9:05-10:00 陸域-汽水域-沿岸域の共同研究体制の必要性（島根大学：野村律夫）

10:00-10:55 汽水域研究の現状 -中海の研究から-（島根大学：瀬戸浩二）

10:55-11:50 沿岸域研究の現状 -有明海と八代海の研究から-（熊本大学：滝川）

シンポジウムⅡ（13:20-15:20）

タイトル：中海の堤防開削における環境モニタリングとその問題点

13:20-13:40 中海本庄水域の人為改変による水質・底質環境の変化（島根大学：瀬戸浩二）

13:40-14:15 中海本庄水域の人為改変による底生生物の変化（島根大学：倉田健悟）

14:15-14:50 中海本庄水域の堤防開削にともなう二枚貝漁業復活の展望と課題（島根大学：山口啓子）

コメント（14:50-15:20）

1) 生物多様性の研究手法と問題点（熊本大学逸見）

2) メイオベントス研究の重要性（熊本大学嶋永）

3) バクテリア研究の現状と課題（熊本大学森村）

シンポジウムⅢ（15:30-17:30）

タイトル：水域環境の人為改変における新たな研究手法の展開

15:30-16:10 海底湧水の実態とそれに伴う栄養塩の供給（総合地球環境学研究所：谷口真人（招待講演，熊本大学嶋田拠点B：要請中）

16:10-16:50 重金属・環境ホルモン等の人工環境攪乱物質の分布と影響（熊本大学中田）

16:50-17:30 自然環境研究における陸域の歴史資料の重要性（熊本大学岩崎）

1 講演 35 分，質疑応答 5 分

ポスターセッション（30 件程度を予定）

会場：百周年記念館 1 階ホール

時間：9:00-17:30

セッション：

- シンポジウム関連
- 汽水域一般
- 環境変動系
- 生物・生態系
- 資源系
- 保全再生系

島根大学関連者，熊本大学関連者，汽水域研究会会員に限らず，一般公募とする（ただし，予定の 30 件を越える場合は，主催者が内容を見て選択をする）。

ポスターのサイズ

1 件当たり A0 縦方向 1 枚

講演要旨

シンポ・・・4p 以内（最大 4p×9 件=36p）

コメント・・・2p 以内（最大 2p×3 件=6p）

ポスター・・・1p（予定 1p×30 件=30p）

巡検パンフ（1p×6 件+地図等 4p=10p）

総ページ数 82 ページ

要旨のフォーマット（別紙を参照）：

MS Word .doc 形式，原則 10Mb 以内，それを越える場合は，CD を郵送。

A4 サイズ 文字 39 字，行数 37 行 余白，上下左右 30mm

題 MS 明朝 ボールド 12 ポイント

発表者 MS 明朝 11 ポイント

メールアドレス Century 11 ポイント

本文 MS 明朝 11 ポイント

図表のキャプション MS ゴシック 10 ポイント

キーワード (和文・英文とも) : MS 明朝 9 ポイント (今年から追加)

各種〆切

10月1日 (厳守) :

ポスター発表の申し込み〆切

巡検および懇親会への参加登録の〆切

10月8日 (厳守) : 巡検パンフ+講演要旨の原稿〆切

10月23日 : 巡検当日受付 (空席がある場合)

申込先

申し込みはメールまたはファクスでお願いします.

メールアドレス : seto@soc.shimane-u.ac.jp

Fax: 0852-32-6450

住所 :

〒690-8504

島根県松江市西川津町 1060

島根大学汽水域研究センター 気付 汽水域研究会大会幹事 (瀬戸)

tel. 0852-32-6450

(汽会 v1 10100901)